

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 児童デイサービスあさひ丸リズム

保護者数(児童数) 34人 回収数 25人 割合73%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	6	1		・子供のやりたいことに合わせてスペースを工夫して確保してくれていた。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	1	1		・十分だと感じています。 ・人数は多く配置されているように感じますが、専門性についてはよく分かりません。	
	③	障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化が適切になされているか	21	1		3	・掃除も行き届いて、清潔感があり、安心して子供を預けています。	
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	24			1	・よく考えて下さっていると思います。ありがとうございます。 ・日頃から細かい所に目を配り伝えてくれるので、客観性は大変勉強になりました。	
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	21	2		2	・プールやライトなど新調されてるようで、あきずに遊べるようです。 ・季節ごとの作り物は変わるが主の内容は毎月同じ。特に不満はないです。	
	⑥	放課後児童クラブや児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	1	4	14	・あまり機会はないと思う。 ・ほぼ障害のないような子供たちも利用されているようで、元気で活発な空気をもたらしてくれているようです。	
保護者 への 説明等	⑦	利用者負担等の説明や支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	25				・とても丁寧に説明してくれました。	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	1			・お友達と関わった時の表情や楽しんでいる報告があればそれで充分です。 ・お忙しい所色々教えて頂き、ありがとうございます。色々聞けてうれしいです。	
	⑨	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	1		1	・半年毎にモニタリングがあり、親の気持ちに寄り添ってくれます。	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1	9	15	・保護者同士は付き合いが出てくると逆に上手く行かないことも出てくるので、ない方がありがたいです。 ・そのような開催があれば参加したいです。 ・今のままでいいです。	
	⑪	子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	1		2	・職員さんも多いため、こちらの要望や意見が全員に行き渡るまでに少しタイムラグがあるのかも？と思うことはありました。	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	2			・送迎の様子を送迎時に伝えてくれるので助かってます。	

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	3	8	<ul style="list-style-type: none"> ・今の時代、HPが選択肢の重要な役割を果たすため、もう少し更新を早めてもいいかもしれません。 ・活動の内容が(日々の様子)HPにアップされない。 ・HPを見てみようと思います。 	
	⑭	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	20	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・一度受給者証コピーないとの事だったので。 	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	17	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練については実施不明である。 ・コロナ対策など文章で伝達があり、対応の早さに感心しました。 	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	1	11	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練が行われている時に参加出来たらいいなと思います。 ・一度やっている説明を受け、今も定期的にやっているかちょっとわかりません。 	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	20	2		<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しいようです。夏のプールが良いようです。 ・サーキットが楽しかったようです。 	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	21	1		<ul style="list-style-type: none"> ・いつも明るく対応して頂き感謝しています。 ・これからも宜しく御願います。 	

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 3年 3月 1日

事業所名 児童デイサービスあさひ丸リズム

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	4	2		・少し狭く感じるときもある。
	②	職員の配置数は適切である	5	5	1	・スタッフが多い時は、足りない事業所へヘルプをだしている。	・スタッフの人数や勤務日数の関係で人手不足になる日もある。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	2	1		・児童が落ち着ける個室部屋があると良いです。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	4	5	1	・スタッフ全員が見れる業務改善のノートが作られている。	
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	4	1		
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	6	5	1		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	6	3		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1	1		
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	2			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	4			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	5			
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	7	3		・日によって活動を変えている。 ・何種類か活動を用意してある。	
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	6	4			
	⑭	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	4		・遅れて出勤の場合は、社員から話を聞く。	
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	2			

	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	4		・月1回程度職員全員集まって話し合っている。	
	⑰	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10				
関係機関や保護者との連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	4	6			
	⑲	母子保健やこども・子育て支援等の関係者や学校、関係機関と連携した支援を行っている	5	4	1	・何かあるとお迎え時に話し合っている。	
	⑳	就学前に利用していた保育所、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	5	1	・相談支援の方と連絡を取って共有している。セルフプランの方とは取っていない。	
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	3	6	1	・全ての事業所とは出来ていない。	
	㉒	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	3		
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	6		
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5	4		
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	2	1	・毎日の連絡帳と送迎の時に話をしている。	
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	6	2		
	保護者への説明書	㉗	運営規定、利用者負担等の説明や、支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	6	4		
㉘		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	4	1		
㉙		父母の会の活動をしたり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	4		・これから目指していきたい、保護者会を開きたい。
㉚		子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	2			

責任等	③①	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の除法を子どもや保護者に発信している	3	5	2		・今度、何らかの形で発信していきたい。
	③②	個人情報の取り扱いに十分注意している	8	1	1	・鍵付きの棚で保管している。	
	③③	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	2	1	・絵カードの使用	
	③④	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	3	3	・会社全体でのお祭りがある。	
非常時等の対応	③⑤	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施している	6	3	2		
	③⑥	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っている	5	3	3		
	③⑦	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	1	1		
	③⑧	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	5			
	③⑨	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	2		・勤務中に時間がある時にその事例集を読んで理解する。	・見れていない人もいると思う。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2			
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	3			・身体拘束を行うと決まった児童が、拘束の解除(シートベルトの外し方)を覚えてしまった場合の対応方法	

事業所自己評価のまとめ

事業所名 児童デイサービスあさひ丸リズム

職員による自己評価と保護者に評価の共通点

- ・子供の活動等のスペースが十分に確保されている。
- ・活動プログラムが固定されないよう、工夫されている。
- ・利用者負担等の説明や、子供と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画書が作成されている。
- ・日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解が出来ている。
- ・子供や保護者との意思の疎通や、情報伝達のための配慮がなされている。
- ・放課後等児童クラブや児童館等との交流や、障害のない子供との交流する機会、保護者会などの保護者同士が交流する機会がない。

相違点

- ・緊急時対応、防犯、感染症対応、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救助、その他必要な訓練が行われているか。
- ・保護者会を希望しない方もいる。
- ・定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定等、発信されているか。

改善点と改善への取り組みを話し合った結果

- ・定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定等発信されているか。について
→ ホームページやインスタグラム、当日の連絡帳などで活動内容など発信をしているが、会報での発信も検討中。
- ・緊急時対応、防犯、感染症対応、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救助、その他必要な訓練が行われているか。について。
→ マニュアルの配布や避難訓練の日程を予定表に掲載したり、避難訓練の様子を当日の連絡帳でお知らせする。
- ・活動プログラムが固定されないよう、スタッフ全員で話し合いを行い、活動内容が増えた。
- ・職員の資質の向上を行うため、業務(連絡)ノートを作成やミーティングや研修の場を増やした。